

第26回 全道ユース(U-18)フットサル選手権大会 兼第2回全日本ユース(U-18)フットサル大会 函館地区予選 開催要項

- 1 主 旨 北海道のフットサル普及・振興のため、高校生年代のフットサル大会を開催し、併せてフットサル技術の向上と健康な心身の育成を図ることを目的として本大会を実施する。
- 2 名 称 第26回全道ユース(U-18)フットサル選手権大会
兼第2回全日本ユース(U-18)フットサル大会 函館地区予選
- 3 主 催 函館地区サッカー協会
- 4 主 管 函館地区サッカー協会2種委員会
- 5 協 力 校 北海道函館水産高等学校・北海道大野農業高等学校
- 6 期 日 平成26年11月22日(土)
- 7 会 場 北斗市スポーツセンター
北斗市本郷2丁目5-1 TEL:0138-77-7200
- 8 参加資格 (1) フットサルチームの場合
- ① (公財)日本サッカー協会に「フットサル2種」、または「フットサル3種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。本協会に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。
 - ② 前項のチームに所属する1997年4月2日以降、2003年4月1日以前に生まれた選手であること。なお、3名を上限に高校3年生(18歳)の選手の参加を認める。男女の性別は問わない。
 - ③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。
- (2) サッカーの場合
- ① (公財)日本サッカー協会に「2種」、「3種」または「女子」の種別で加盟登録した単独のチームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。本協会に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。
 - ② 前項のチームに所属する1997年4月2日以降、2003年4月1日以前に生まれた選手であること。なお、3名を上限に高校3年生(18歳)の選手の参加を認める。男女の性別は問わない。
 - ③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。
- (3) 地区大会を通して、選手は、他のチームで参加していないこと。所属するチームが複数のチームで参加する場合、またはサッカーチームとフットサルチームの両方に所属し、両方のチームが参加する場合を含む。
- (4) 選手および役員は、本大会において複数のチームで参加できない。
- (5) 本大会フットサル登録料(2,000円)を函館地区サッカー協会において納入完了していること。
- 9 競技規則 大会実施年度、(公財)日本サッカー協会フットサル競技規則による。ただし、以下の項目については、本大会の規定を定める。
- (1) 使用球は、フットサル4号ボールとする。
 - (2) 競技者の数
 - ・競技者の数:5名
 - ・交代要員の数:7名以内
 - ・ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数:2名以内
 - (3) ベンチに入ることのできる人数は10名以内(交代要員7名、役員3名以内(ただし通訳が試合に登録されている場合は、4名以内とする))とする。
 - (4) 試合時間は予選リーグ、決勝トーナメント共に20分(前後半各10分)のランニングタイム、ハーフタイムのインターバルは2分間とする。
 - (5) 試合の勝者を決定する方法(競技時間内で勝者が決定しない場合)
 - ① 予選リーグは引き分けとする。
 - ② 決勝トーナメントにおいて勝敗が決定しない場合は、PK方式(1チーム5名による3本ずつのキックで行う。決しないときは一方のチームが他方より多く得点をあげるまで行う。)により勝敗を決定する。

- 10 競技方法 (6) タイムアウトは適用しない。
 (1) 1グループ3~4チームとして、2~4グループで予選リーグを行う。
 (2) 昨年度の結果によるシードは基本的に行わない。
 (3) 決勝トーナメントは、構成されるグループが4の場合は各グループ各1位のチームで行うが3グループ以下の場合は各1位・2位のチームで行う。
 (4) 試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止になった場合には、その帰責事由のあるチームは0対5または、その時点でのスコアがそれ以上であればそのスコアで敗戦したものとみなす。リーグ戦における棄権試合（不正が確認された場合も含む）は0対5とする。
 (5) 予選リーグの順位決定方法は、勝点合計の多いチームを上位とし、順位を決定する。勝点は、勝ち3、引分け1、負け0とする。ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。
 ① 当該チーム間の対戦成績
 ② 当該チーム間の得失点差
 ③ 当該チーム間の総得点数
 ④ グループ内での総得失点差
 ⑤ グループ内での総得点数
 ⑥ 下記に基づくポイント合計が少ないチーム
 (ア) 警告1回1ポイント
 (イ) 警告2回による退場1回3ポイント
 (ウ) 退場1回3ポイント
 (エ) 警告1回に続く退場4ポイント
 ⑦ PK方式（1チーム5名による3本ずつのキックで行う。決しないときは一方のチームが他方より多く得点をあげるまで行う。）により決定する。
- 11 懲 罰 (1) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
 (2) 本大会期間中に警告の累積が2回に及んだ場合は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
 (3) 前項により出場停止処分を受けたとき、予選リーグ終了時点で警告の累積が1回るとき、または、本大会の終了のときに、警告の累積は消滅する。
 (4) 本大会は、全道大会と懲罰規定上の同一競技会とみなし、本大会終了時点で未消化の出場停止処分は全道大会の試合にて順次消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
 (5) その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の大会規律委員会が決定する。
- 12 参加料等 参加料11,000円、審判不帯同料3,000円
- 13 参加申込 (1) 参加申込書に記載し得る人員は、選手20名・役員4名とする。
 (2) 大会参加の有無を10月31日（金）までに、下記事務局までE-mailで連絡すること。
 (3) 申込締切日 平成26年11月7日（金）正午必着のこと（但し監督会議不参加校のみ）。監督会議に出席する場合は、受付の際に参加料とともに参加申込書（職印を押したものを）を提出すること。
 (4) 参加申込書の位置（ポジション）については、F P、G Kの用語を使って記入すること。
 (5) 申込方法 同送の申込フォームに必要事項を記入し、職印を押したものを期日までに郵送または持参すること。また、記入済みのデータを下記事務局までE-mailで送信すること。
 <<申込先>>
 E-mail : mlkhoshi@hokkaido-c.ed.jp
 〒049-0111 北斗市七重浜2丁目15-3 北海道函館水産高等学校 星澤克幸
- 14 組合せ 組合せ抽選を監督会議にて公開で行う。なお、会議出席チームは参加できる。
- 15 ユニフォーム等 (1) ユニフォーム
 ① フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム（シャツ、ショーツ、ストッキング）を参加申込書に記載し、各試合には正副ともに携行すること。
 ② チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。

- ③ フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインでかつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。
- ④ シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別しうる色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
- ⑤ 選手番号については1から99までの整数とし、0は認めない。フィールドプレーヤーは1番をつけることができない。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。
- ⑥ ユニフォームの広告掲示については、本協会の承認を受けている場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲示料等の経費は当該チームにて負担することとする。
- ⑦ その他ユニフォームに関する事項については、(公財)日本サッカー協会の規定に則る。

(2) ビブス

交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。

(3) 靴

靴底は接地面が飴色、白色もしくは無色透明のフットサル用シューズのみ使用可能とする(スパイクシューズ及び靴底が着色されたものは使用できない)。

16 監督会議

平成25年11月7日(金) 16:00 函館水産高校食品流通実習室

17 閉会式

11月22日(土) 代表決定戦終了後に行い、優勝、準優勝、第3位には函館サッカー協会から表彰状を授与する。

18 負傷及び事故の責任

- (1) 大会期間中の負傷及び事故の責任は、当該チームが負うものとする。なお、医師及び救急用具の準備は各チームの責任において行うものとする。
- (2) 選手はスポーツ保険または、それに準じた保険に加入していること。

19 その他

(1) 選手証等

各チームの登録選手は、本協会発行の電子登録証の写し(写真が登録されたもの)または、選手証(写真が貼付されたもの)を大会本部に持参すること。登録証または選手証が確認できない場合は、試合に出場できない。なお、選手証は本大会に申し込まれたチームおよび個人のものであること。

- (2) 選手の資格に関して不都合な行為等があった場合、そのチームの出場を停止する。審判については資格保有の各学校顧問が行う。
- (3) 競技時間中、ウォーミングアップ時間中を問わず、自分のベンチにおいて摂取可能な飲料は「水のみ」に限定する。
- (4) 震災等不測の事態が発生した場合には、本大会運営委員会において競技の上対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。
- (5) ボールはフットサル用認定球とし、各校1球持ち寄りとする。
- (6) ネックレス・ピアス・ミサンガ・ヘアバンド等の一切の装飾品、茶髪、金髪、鬚は禁止する。
- (7) 眼鏡の着用は原則として認めない。
- (8) 累積ファウル
累積ファウル4回目から第2PKマークからの再開とする(試合時間が短いため)。
- (9) 申込後の選手変更は認めない。
- (10) メンバー提出用紙は1試合前のハーフタイムまでに本部に先発選手に○を記して提出すること。
- (11) 優勝チームには、平成27年1月24日(土)~25日(日) 道立野幌総合運動公園総合体育館メインアリーナで開催される第26回全道ユース(U-18)フットサル選手権大会兼第2回全日本ユース(U-18)フットサル大会北海道予選への参加を義務付ける。

以上